

一総括表一		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
【地域の現状】 いずみ野地域ケアプラザはいずみ野駅に隣接し、駅前には商業施設や飲食店があり大変活気がある街となっています。クリニックも駅周辺には多くあり医療面でも恵まれた地域です。一方駅から離れると、買い物をするお店や病院が少なく、住宅街や農耕地が広がっています。高齢化は37%と高いですが、要介護認定率は18%と元気な高齢者が多いです。しかし、包括支援センターには認知症に関する相談が多くなっています。弥生台地区は、戸建てが多く、多世代で居住している方も多い地域です。いずみ野・弥生台共にエレベーターのない集合住宅が多くあることから、今後は高齢者の方々の、外出・通院・買い物といった移動や介護保険外の住民間での支え合いが必要となる地域です。 【今後の方向性】 ・地域住民の方とともに、地域に必要な移動や外出支援、また、支えあいの仕組みづくりをさらに進めます。 ・地域の中で認知症に対する理解が進み、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。 ・地域住民が主体となって活躍できる多世代の方が集える居場所づくりに取り組みます。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	一具体的な取組内容一
☐	☒	・何らかの理由で外出が出来なくなった高齢者への支援、「お出かけサポーター」の活動を更に拡げていきます。 ・居場所支援である「お出かけカフェ」も令和6年度は完全自主化へと移行しました。更なる発展を目指します。 ・活動の担い手にとって活動の場が増えているので、今後もケアプラザの事業への協力・連携しやすい後方支援を進めていきます。
☐	☒	・「チームオレンジ」事業を更に充実させていきます。令和4年6月から若年性認知症当事者の方の居場所「フレンドハーモニーの和」を立ち上げ、順調に活動の幅を広げてきました。また令和6年度より家族会が発足し家族同士の話し合いも始まりました。必要時には包括支援センターにつなげるなど、きめ細やかな支援を継続していきます。 ・小・中・高生・地域の方・企業を対象に認知症サポーター養成講座等を実施してきましたが、今年度は、買い物等で利用するいずみ野駅周辺の商店や金融機関の方対象にサポーター養成講座が開催できるように働きかけていきます。
☐	☒	・昨年度に引き続き、地域住民が主体となって活動できる場を提供するため、超少子高齢化社会に対応した「多世代食堂」を開催します。この食堂では、多世代が集まることで新たな交流の場を生み出すことや、この活動を通じて、地域住民や子ども達が楽しく活躍できる居場所づくりを目的としています。また、泉区も推奨する地産地消取り組みの地元農家と連携して住民と共に地域活性化を推進します。
☐	☒	・今年度も防災への取組を行っていきます。 ・地域の防災運営会議や防災拠点訓練へ参加し、地域との連携強化に努め福祉避難所の周知など必要な情報提供します。 ・近隣の福祉施設との情報交換の機会を作ります。 ・今年度の地域ケア会議は、災害時における地域での安否確認やネットワーク構築をテーマに開催していきます。
☒	☐	・障害への理解を深める取組を行います。 ・これまでも、泉区基幹相談支援センターとの情報交換会を実施し機能の理解を深めてきましたが、今年度は、泉区基幹相談支援センターの役割周知と共催講座の開催、合わせて相談会を実施して地域の方が身近な場所で相談を受ける機会を提供できるようにしていきます。
☐ 振り返り		
地域の多様な課題に対し今年度も高齢者支援から認知症施策、多世代交流、防災、障害者理解の促進まで幅広い取組を行いました。 ・「お出かけサポーター」の活動は6年目に入り、ケアマネ連絡会でエリア内外のケアマネジャーへのインフォーマルサービスとして紹介したこともあり、ケアマネジャーからの相談でゴミ捨てや家族で対応できない通院の送迎等、短期のサービス利用についても対応していただき、今後さらにインフォーマルサービスが必要となることをボランティアの皆さんとも共有することができました。また、隣のエリアの方の外出支援も受けており、近隣ケアプラザとの連携の必要性も感じています。 ・若年性認知症当事者の会「フレンドハーモニーの和」では、当事者の方がお住まいの近隣事業所の方が紹介して下さいたり、若年性認知症支援コーディネーター（ほうゆう病院）が繋いで下さる新しい参加者も増え、開始した当初は2～3人だった当事者が7～8人になり水面下には多くの当事者がいる事を知りました。4年目を迎え、当事者の居場所の必要性和多様性を感じています。若年性認知症の方が参加できる場や内容を当事者と一緒に考え新たな活動の場として近隣施設との連携を進めることができました。 ・小・中学校等での認知症サポーター養成講座の他にいずみ野駅周辺の商店に希望を募り、近隣銀行員に対する講座の申し込みを受けましたが諸事情により開催に至りませんでした。しかし、単位町内会内で住民に対する講座を開催することができ、更に継続した講座開催を希望されたので今後ステップアップした講座を検討しています。 ・令和6年度から、独居高齢者の孤食対策や子どもたちの活躍できる場所、地産地消を目的としてスタートした「多世代食堂いずみ野キッチン」は、新たな交流の場、みんなが活躍できる場として定着してきました。地元農家と連携することで地域活性化にもつながっています。アンケートでは地域のこどもたちの活躍する姿が参加している高齢者の喜びや元気に繋がるとの声をいただいています。地域の中学生～大学生の参加も、自分が町づくりに参加していることを意識できる体験を通して改めて自分の町の地域特性を大事に思う機会となっています。横浜市が3月に発行する「横浜市民生活白書」にコラムが掲載されることになり、協力してくださっているボランティアの皆さんの士気がさらに上がりました。 ・地域の防災委員会に定期的に参加し、福祉避難所や災害時の医療に関する情報提供と情報共有に務めました。また、災害時の要援護者支援について地域の方と意見交換の場を設け、地域の関係者と安否確認やネットワーク構築をテーマに地域ケア会議を開催できました。 ・障害者への理解を深める取組として、泉区基幹相談支援センターの役割周知のため情報交換会やケアプラザの広報誌での紹介をしました。		
☐ 区からのコメント		
・高齢者の外出支援として「お出かけサポーター」の取組は、ケアマネ連絡会等においてエリア内外のケアマネジャーにインフォーマルサービスとして紹介していただき、ケアマネジャーから相談があった様々な生活におけるニーズに対して、サービスの利用へと対応いただいています。今後より一層インフォーマルサービスの重要性が高まるため、貴重なこの取組が継続できるよう引き続き、後方支援等をお願いします。 ・地域ケア会議については、自立支援型、ネットワーク構築型を積極的に開催し、医療専門職等による助言も得ながら、自立支援に向けた効果的なプランが立てられるよう、ケアマネジャー支援を行っていただきました。また、包括レベル地域ケア会議では、防災をテーマに、エリアに関わる数多くの医療介護機関を参加者として組み込み開催いただき、地域のネットワーク構築につながっています。 ・地域活動・学校連携・企業アプローチ・広報発信など多面的な取組を積極的に実施し、相談支援につながる関係づくりを着実に進めています。認知症キャラバンメイト支援や認知症カフェのバックアップ、若年認知症当事者の活動支援など、多様な立場に応じた丁寧な伴走支援にも主体的に取り組んでいます。地域役員や関係機関への働きかけを継続することで、出張講座の実施や新規の相談・参加につながる機会も広がっていただきました。今後も地域資源を生かした連携の推進を図り、相談支援の質向上に向けた取組の継続を期待します。 ・高齢分野とこども分野、地区社協と民児協などが風通し良く、地域の中で顔の見える関係が築かれています。特に「多世代食堂いずみ野キッチン」では、交流にとどまらず、多様な立場の方がそれぞれでできることを協力し合い活躍できる場となっているなど、さまざまな区民が参加できる仕組みがあり、地域ケアプラザとして丁寧な課題整理と、新しい取組への反映が行われています。		

令和7年度横浜市いずみ野地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	・お客様の相談内容から判断し、公正中立の立場でハートページから情報提供し、お客様に選んでいただきます。 ・法人規定の様式、居宅介護支援の新規依頼表を使いお客様が選定した理由を明確にしておきます。	・個人情報関連書類は鍵のかかる倉庫・キャビネに保管します。 ・個人情報の郵送やFAX送信時は、法人既定の様式を使ってダブルチェックを行います。 ・事故発生時は、ルールに従い速やかに本部や行政に報告します。
実績	・お客様の相談内容から判断し、公正中立の立場でハートページから情報提供し、お客様に選んでいただきました。 ・法人規定の様式、居宅介護支援の新規依頼表を使いお客様が選定した理由を明確にしておきました。	・個人情報関連書類は鍵のかかる倉庫・キャビネに保管しました。 ・個人情報の郵送やFAX送信時は、法人既定の様式を使ってダブルチェックを行いました。 ・セキュリティー事故含めて事故発生は0件でした。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	1人ひとりに合わせた個性のあるプランを作成し、自立した生活を継続していけるように支援していきます。 介護保険のみならず、地域のインフォーマルサービスの情報提供をし、プランに入れていきます。	ご本人の意向を尊重し、出来る限り住み慣れた地域で尊厳のある自立した生活が送れるように支援します。 介護保険のみならず、地域のインフォーマルサービスの情報提供をし、プランに入れていきます。
利用料金	【サービスに係る費用】 4、915円	【サービスに係る費用】 要介護1又は2 12、076円 要介護3、4、又5 15、690円
	【その他料金】 無し	【その他料金】 無し
職員体制	包括3職種 (主任ケアマネジャー、社会福祉士、看護師) 予防プランナー1名 合計 4名	主任介護支援専門員2名 (常勤専従1名・常勤兼務1名) 合計 2名
契約者数	(直)47件 (委託)114件 合計 161件	42件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
利用料金	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「横浜市いずみ野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜（参考）地域活動交流＞

収入の部							(単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料	21,565,038	0	21,565,038	21,120,583	444,455	横浜市より	
内 受領額	21,565,038		21,565,038	21,933,602	△ 368,564		
内 戻入額				△ 813,019	813,019		
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0		
雑入	0	0	0	389,790	△ 389,790		
内 印刷代			0	38,390	△ 38,390		
内 自動販売機手数料			0		0		
内 その他			0	351,400	△ 351,400		
その他			0		0		
収入合計	21,565,038	0	21,565,038	21,510,373	54,665		

支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	13,238,762	0	13,238,762	13,275,116	△ 36,354		
内 本俸	8,616,658		8,616,658	9,537,291	△ 920,633		
内 社会保険料	776,748		776,748	1,365,668	△ 588,920		
内 手当計	1,214,853		1,214,853	1,960,063	△ 745,210		
内 健康診断費	67,000		67,000	44,109	22,891		
内 勤労者福祉共済掛金	7,128		7,128	7,125	3		
内 退職給付引当金繰入額	344,049		344,049	359,172	△ 15,123		
内 その他	2,212,326		2,212,326	1,688	2,210,638		
事務費	1,085,000	0	1,085,000	1,613,955	△ 528,955		
内 旅費	30,000		30,000	22,186	7,814		
内 消耗品費	158,999		158,999	124,709	34,290		
内 会議ठीい費	10,000		10,000	17,020	△ 7,020		
内 印刷製本費	75,000		75,000	60,390	14,610		
内 通信費	416,424		416,424	414,286	2,138		
内 使用料及び賃借料	229,020	0	229,020	230,593	△ 1,573		
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支			0	0	0		
内 戻 其他	229,020		229,020	230,593	△ 1,573		
内 備品購入費	41,000		41,000	0	41,000		
内 図書購入費			0	0	0		
内 施設賠償責任保険	10,000		10,000	11,299	△ 1,299		
内 職員等研修費			0	7,150	△ 7,150		
内 振込手数料	26,100		26,100	4,732	21,368		
内 リース料	55,873		55,873	66,650	△ 10,777		
内 手数料			0	23,304	△ 23,304		
内 地域協力費	10,000		10,000	15,000	△ 5,000		
内 公租公課	0	0	0	0	0		
内 事業所税			0		0		
内 消費税			0		0		
内 印紙税			0		0		
内 その他			0		0		
内 その他	22,584		22,584	616,636	△ 594,052		
事業費	1,870,500	0	1,870,500	439,780	1,430,720		
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）			0	439,780	△ 439,780		
内 其他	1,870,500		1,870,500		1,870,500		
管理費	4,868,542	0	4,868,542	2,930,421	1,938,121		
内 光熱水費	1,801,200		1,801,200	1,675,388	125,812		
内 清掃費	634,370		634,370	634,370	0		
内 機械警備費	106,214		106,214	123,594	△ 17,380		
内 設備保全費	497,069	0	497,069	416,773	80,296		
内 空調衛生設備保守	286,770		286,770	286,770	0		
内 消防設備保守	47,274		47,274	47,274	0		
内 電気設備保守	47,969		47,969	47,969	0		
内 害虫駆除清掃保守	34,760		34,760	34,760	0		
内 駐車場設備保全費			0		0		
内 その他保全費	80,296		80,296		80,296		
内 共益費			0	80,296	△ 80,296		
内 その他	1,829,689		1,829,689		1,829,689		
修繕費	474,000		474,000	29,981	444,019	予算：指定額	
太陽光パネル保守点検			0		0		
太陽光パネル修繕（追加）			0		0		
その他			0		0		
内							
支出合計	21,536,804	0	21,536,804	18,289,253	3,247,551		
差引	28,234	0	28,234	3,221,120	△ 3,192,886		

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	0	0	0	439,780	△ 439,780	
自主事業 収支	0	0	0	△ 439,780	439,780	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「横浜市いずみ野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】		26,698,174	0	26,698,174		26,698,174	横浜市より
内 訳	受領額	26,698,174		26,698,174	26,854,610	△ 156,436	
	戻入額				△ 517,031	517,031	
指定管理料【介護予防】		154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】		200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】		6,150,623		6,150,623	6,150,623	0	横浜市より
内 訳	受領額			0		0	
	戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】				0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】				0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】				0	128,500	△ 128,500	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】				0	27,600	△ 27,600	
雑入		0	0	0	30,728	△ 30,728	
内 訳	印刷代			0		0	
	自動販売機手数料			0		0	
	その他			0	30,728	△ 30,728	
その他				0		0	
収入合計		33,202,797	0	33,202,797	33,029,030	173,767	

支出の部

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費		30,802,297	0	30,802,297	28,539,543	2,262,754	
内 訳	本俸	15,792,468		15,792,468	15,879,936	△ 87,468	
	社会保険料	4,019,047		4,019,047	3,604,033	415,014	
	手当計	4,928,471		4,928,471	8,295,712	△ 3,367,241	
	健康診断費	45,000		45,000	38,678	6,322	
	勤労者福祉共済掛金	27,372		27,372	23,575	3,797	
	退職給付引当金繰入額	668,236		668,236	697,609	△ 29,373	
	その他	5,321,703		5,321,703		5,321,703	
事務費		634,000	0	634,000	2,066,475	△ 1,432,475	
内 訳	旅費	14,400		14,400	61,579	△ 47,179	
	消耗品費	107,998		107,998	195,638	△ 87,640	
	会議賄い費	5,000		5,000	0	5,000	
	印刷製本費	110,000		110,000	120,767	△ 10,767	
	通信費	230,413		230,413	532,690	△ 302,277	
	使用料及び賃借料	31,020	0	31,020	32,175	△ 1,155	
	内 訳	自販機目的外使用料（横浜市への支出）		0	0	0	
		その他		31,020	32,175	△ 1,155	
	備品購入費	21,000		21,000	35,200	△ 14,200	
	図書購入費			0	0	0	
	施設賠償責任保険	10,000		10,000	15,069	△ 5,069	
	職員等研修費	22,200		22,200	4,748	17,452	
	振込手数料	26,100		26,100	4,732	21,368	
	リース料	35,869		35,869	110,355	△ 74,486	
	手数料			0	23,305	△ 23,305	
	地域協力費	20,000		20,000	25,000	△ 5,000	
	公租公課						
	内 訳	事業所税					
		消費税					
		印紙税					
		その他					
	その他			0	905,217	△ 905,217	
事業費		2,458,000	0	2,458,000	782,303	1,675,697	
内 訳	協力医	630,000		630,000	231,000	399,000	予算：指定額
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,120,000		1,120,000	2,200	1,117,800	
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000	196,929	3,071	
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	354,000		354,000	198,174	155,826	
	その他			0		0	
	その他						
管理費		1,216,000	0	1,216,000	778,971	437,029	
内 訳	光熱水費	478,800		478,800	445,356	33,444	
	清掃費	168,630		168,630	168,630	0	
	機械整備費	28,234		28,234	32,854	△ 4,620	
	設備保全費	132,131	0	132,131	132,131	0	
	内 訳	空調衛生設備保守		76,230	76,230	0	
		消防設備保守		12,566	12,566	0	
		電気設備保守		12,751	12,751	0	
		害虫駆除清掃保守		9,240	9,240	0	
		駐車場設備保全費		0		0	
		その他保全費		21,344	21,344	0	
	共益費			0		0	
	その他	408,205		408,205		408,205	
修繕費		126,000		126,000	7,969	118,031	予算：指定額
その他		△ 2,033,500		△ 2,033,500		△ 2,033,500	
内 訳							
支出合計		33,202,797	0	33,202,797	32,175,261	1,027,536	
差引		0	0	0	853,769	△ 853,769	

自主事業費 収入	0	0	0	128,500	△ 128,500	
自主事業費 支出	1,828,000	0	1,828,000	551,303	1,276,697	
自主事業 収支	△ 1,828,000	0	△ 1,828,000	△ 422,803	△ 1,405,197	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：横浜市いずみ野地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	8,957	10,168	-1,211	6,476	7,003	-527			0			0
	その他	0	0	0	0	50	-50	360	829	-469	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	認定調査委託料			0			0	59	88	-29			0			0
	原案作成委託料			0			0	301	642	-341			0			0
				0			0			0			0			0
	補助金			0		50	-50		97	-97			0			0
	その他			0			0		2	-2			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	8,957	10,218	-1,261	6,836	7,832	-996	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0	1,030	1,001	29	8,534	9,785	-1,251			0			0
	事務費			0	4,908	6,653	-1,745	2,649	2,625	24			0			0
	事業費			0	0	0	0	63	62	1			0			0
	管理費			0		0	0	0		0			0			0
	その他	0	0	0	3,019	0	3,019	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	本部繰入			0	3,019	0	3,019			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	8,957	7,654	1,303	11,246	12,472	-1,226	0	0	0	0	0	0
収支 (A)－(B)		0	0	0	0	2,564	-2,564	-4,410	-4,640	230	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業					■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業				1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3			2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）						7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	ベビーと一緒に親子体操	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場を提供する。地域と親子が出会う居場所となるようにする。	3:養育者及び乳幼児		毎月第4木曜日実施。令和4年度は0歳児対象。親子の対話を大切にしながら、月齢の状況に合わせた体操を行う。	12	0	150	0
2	ベビーマッサージ	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場。母親、父親のレスパイト	3:養育者及び乳幼児		毎月第1金曜日に開催。4回を1クールとして、0歳児の親子の居場所の確保を目的とする。	7	0	47	0
3	1歳児のためのバランス体操	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場を提供する。地域と親子が出会う居場所となるようにする。	3:養育者及び乳幼児		毎月第4木曜日実施。令和5年度新設。1歳児対象。動きの活発になる1歳児と親の心と体の健康を大切にしながら、月齢の状況に合わせた体操を行う。	12	0	194	0
4	ストレッチ教室①②	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザで初めての講座に参加をする方 ケアプラザの他の事業へ繋げるための入り口の講座	1:高齢者		体に負担の少ないストレッチを中心に運動を行う。 講師は既にケアプラザで実績のある外部講師が担当。	21	0	398	0
5	中国健康体操	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	40～50歳代を対象とし、健康増進及びケアプラザの周知	5:地域		夜間の事業から、夕方の事業に令和6年度から移行。ケアプラザの機能を知ってもらう事、健康に努めて頂く事を目的にしている。	11	0	164	0
6	歴史講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	男性が参加しやすい、受け入れやすい講座として、新設。	5:地域		令和3年より、おさんぽ塾にて人気の講座。 令和5年度より、単発の事業として特化。男性が参加しやすい事業として、年2回実施予定。	2	0	58	0
7	スマホ・パソコン講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ICT活用を地域の人が、身近に受け入れられるようにサポートしていく狙いがあり。主としては高齢者を対象としていく。	1:高齢者		前年度まで、専門学生を主体にマンツーマン対応で行っていたが、その事業が終了し、新たに地域のボランティア団体に協力を経て、始まる事業。ICTの活用を広める事を目的とする。	10	0	53	0
8	おげんき塾	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防等、様々な健康面に関する周知を目的とした、自主事業	1:高齢者		年に数回講座を行い、その状況に合わせた講座対象者へ啓発活動を行う。	2	0	23	0
9	自分の体と向き合う講座 (夏編)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康づくりと介護予防の推進	5:地域		全4回実施。介護予防、ロコモ予防、口腔ケア、栄養について講話と体験を通して、自分の体と生活の仕方を見直してもらう機会にしてもらう。	3	0	66	0
10	自分の体と向き合う講座 (冬編)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康づくりと介護予防の推進	5:地域		全4回冬実施予定。介護予防、ロコモ予防のためハマトレの紹介、口腔ケア、栄養について講話と体験を通して、自分の体と生活の仕方を見直してもらう機会にしてもらう。	3	0	43	0
11	ロコモ予防 腰痛・ひざ痛講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康づくりと介護予防の推進	5:地域		実施時期未定。 下肢筋力が弱った方に筋力をつける事で改善が可能であるというメッセージと生活の中で取り組みが出来るように働き掛ける。	1	0	23	0
12	令和の葬儀講座	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者や高齢世帯を抱える子供世帯への支援講座	5:地域		開催時期は明確に決定していない。 興味関心の高いテーマとして講座を開催する。	1	0	15	0

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
13	いずみ野出張講座	令和5年度	4:地域包括支援センター運営事業	3:優先的に取り組み	健康づくりと介護予防の促進	1:高齢者		CPから離れた地域へ出向き、地域住民のニーズに合わせた内容について講座を開催。不定期。	7	0	101	0
14	相続・遺言講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	権利擁護…意思決定支援講座	5:地域		開催時期未定。終活としての相続、遺言講座は人気が高いテーマであり、講座を企画する。	1	0	30	0
15	老後の生活設計の在り方講座	R7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	権利擁護…意思決定支援講座	5:地域		生活設計を見直すことで、今後の金銭管理や認知症になった場合にどうするかを考えるきっかけづくりとする。	1	0	17	0
16	チームオレンジ事業 認知症サポーター養成講座	令和4年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを養成し、認知症になっても住み続けられる地域づくりに取り組む。	5:地域	1,4	講座を開催する。地域住民が受講しやすい時間と曜日を設定する。 対象者は一般の方から、小学生等までの幅広い層を本年度は考えている。	0	0	0	0
17	チームオレンジ事業 認知症サポーター フォローアップ講座	令和4年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	泉区認知症サポーター登録推進事業に参画した企業向けに、実践編として更に認知症の理解を深める機会とする。また、認知症の理解者として地域貢献へのきっかけとする。	5:地域		企業の方へ認知症サポーターとしてステップアップを図れるよう支援する。	0	0	0	0
18	おはなしぼけっと (元気づくりステーション)	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	元気づくりステーションとして、成り立っている「おはなしぼけっと」の活動だが、団体が自律的な活動を行う中での、後方支援を整理していく。	5:地域		月2回定例会あり。 泉区の保健師とCPの保健師が団体和協力し、完全な自立化を目指す。	26	0	168	0
19	チームオレンジ事業 フレンドハーモニーの和 (若年性認知症当事者会)	令和4年度	7:共催（1と2と3）	2:発展させるねらい	65歳未満で発症した若年性認知症の当事者の会を開催します。若年性認知症の方が話し合える交流の場です。また別室で、ご家族は介護経験者のアドバイスを受けることができます。	5:地域	1, 7	令和4年6月より毎月第3日曜日に開催。関係機関と連携をはかりながら認知症の人と家族が安心して参加できる居場所となるよう、取組めます。	9	0	257	0
20	チームオレンジ事業 若年性認知症当事者の会 企画会	令和4年度	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	若年性認知症当事者会への準備のため、関わるスタッフ・ボランティア等への打合せのため。また、共通認識を高める場。	5:地域	1, 7	当事者がやりたいことが可能となるように、事前の打ち合わせを行い、家族会とボランティアが活動しやすくするための会議	10	1	71	1
22	お出かけサポーター定例会	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	お一人での外出が難しい高齢者が閉じこもりがちになることでの身体機能の低下を予防し、地域住民同士の顔の見える関係づくりを提供することで地域での見守り体制を構築することを目的としている。	5:地域		毎月、定例会（協議体）を開催し、ケアプラザで開催するサロンや通院の車椅子での外出支援を実施。定例会は、2部制で、包括支援センターやケアマネジャーへの個別相談事例について話し合い、ボランティア活動へ結ぶ。	47	0	559	0
23	多世代食堂「いずみ野キッチン」	令和6年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	・今年度も、食を通じて、多世代が交流できる、緩やかな見守り体制の居場所「いずみ野キッチン」を展開する。 ・こども活躍・一人暮らし高齢者（民生委員と協力）・地産地消取組農家との連携等、3つの視点による地域力活性化させることも目的とする。	5:地域	1,2,3,4	令和6年度に開催し、かけはしのこどもたちや、地域の中学・高校・大学生の学生ボランティアから高齢者の調理ボランティア・珈琲提供の男性ボランティアも活躍し、今年度は5月、7月、9月、10月、12月、2月に開催する。 令和8年度は自主化に向けた活動とする。	11	0	253	0
24	いずみ野夏講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの子ども居場所づくり 親子の交流の場	4:子ども・青少年	3,5	夏休み期間中の3回を実施 (歴史講座＆勾玉づくり、紙染め、琴体験) 夏休みの支えになるように ケアプラザとして支援する	3	0	42	0

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組み	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）				4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
25	小学生の書初め	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	冬休みの子どもの居場所作り 地域の方との交流	4:子ども・青少年	3,5	令和2年度より創めた、冬休み宿題救済企画。子どもたちと地域の方との触れ合いも含みながらの企画となっている。	0	0	0	0
26	和泉北部地区子育てネットワーク公園遊び・お芋ほり企画	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①和泉北部子育て支援ネットワークの周知 ②地域の親子の現状把握	3:養育者及び乳幼児	4,5	和泉北部地区らしい子育て支援のサポートを考える子育て支援ネットワークの活動に参画し、地域の子育てを豊かにする活動をしていく。	2	0	61	0
27	和泉北部連合主催いずみ野文化祭	令和3年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	和泉北部連合主催のいずみ野文化祭を全面的に支援する。企画等から参画。地域の活性化の支援をする。	5:地域	1, 2, 3, 4, 6, 7	和泉北部連合主催の行事がこの数年間、行われていないため、地域の活動団体がうまく活動できないことから計画された文化祭。10/21(土)を予定している。	1	0	1000	0
28	いずみ野カフェ「デ・アイ」	平成29年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	認知症カフェの開催について後方支援として関わり、認知症の当事者や家族の支援を行う。	1:高齢者	5	毎月第4日曜日実施。貸室登録団体『いずみ野カフェ「デ・アイ」』と共催。認知症カフェで介護者や当事者の居場所や情報を発信する場を提供する。	12	0	203	88
29	スクエアステップ体験会	令和5年度	7:地域包括支援センター運営事業	6:優先的に取り組み	健康づくりと介護予防の促進	1:高齢者	1	歩く脳トレ。虚弱な方、CP事業に参加したことがない方を対象に年2回開催。	1	0	11	0
30	おでかけカフェ	令和2年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	おひとりでは外出が難しい方や、地域の見守りの目をお互いに作っていくために、そして気軽に声掛けができるようにしていくための居場所事業。	5:地域	1,4	お出かけカフェの参加者は。包括支援センターやケアマネジャーの相談者であるため、交流の場が必要な方をお出かけカフェに繋げていく支援を行う。	8	0	329	0
31	いずみ野子育てサロンぼぼんた	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	乳幼児とその保護者を対象とした子育てサロン	3:養育者及び乳幼児	4,5	毎月第4水曜日に開催。「いずみ野子育てサロンぼぼんた」と共催していく。子育て支援ネットワーク連絡会とも連携し、地域の子育て世代のニーズや課題を把握していく。	9	0	198	0
32	かけはし	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体が運営する主に不登校支援のための居場所事業。地域の子供たちの未来サポートとしても、事業を支えていく。	4:子ども・青少年	3,5	一般社団法人「かけはし」との共催事業。地域の見守り事業として、支えていく。また、子どもたちの事を大切にしてくれる地域の人たちと繋げていく。	14	0	42	0
33	単一自治会への支援 (単一自治会への出張講座を含む)	平成30年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	ケアプラザの周知 介護予防普及啓発 エリアの状況把握	5:地域	1	ケアプラザの役割・機能、介護保険、認知症予防体操、消費者被害防止等に関する講座を行い、ケアプラザの周知をしていく。令和5年度は弥生台地区、ひなた山地区を中心に、支援を検討中	15	0	999	0
34	シニアクラブへの支援 (シニアクラブへの出張講座含む)	平成29年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	ケアプラザの周知 介護予防普及啓発 友愛活動として、閉じこもり等情報が届きにくい方への情報提供してもらう	5:地域	1	シニアクラブの会員対象に、出張講座を行う。年間の取組目標としては3回～4回程度。	23	0	431	0
35	地域サロン支援	令和元年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域のサロンを訪問し、地域ニーズを把握し、身近な場所でのサロンに参加することで、地域住民同士のつながりや必要とする支援を提供する。また、地域ケアプラザをもっと身近に感じていただけるように、参加者の皆様へ周知し、いざという時に相談し、お出かけサポーターに必要な研修会を開催	5:地域	1	地域で開催されているサロン活動に訪問時に情報提供や、それぞれの地域で必要としている後方支援を行う。	22	0	320	0
36	お出かけサポーター研修会と交流会	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	お出かけサポーターに必要な研修会を開催 ・車いす操作実践研修 ・ボランティアの心得 ・傾聴 ・その他必要な研修会の開催	1:高齢者	5	年4回実施。8月・10月・2月・3月 お出かけサポーターは、様々なお客様に対応があるため、学びのための研修会	2	0	47	0

■ 事業			■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）			7：その他		

[illegible]